

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2002. 2. 20

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）倉橋（幡多小）松本（国府小）福井（伊島小）

【コンペイトウ?】倉橋

倉橋先生がニコニコしながら「コンペイトウ食べる」などと聞くので、すぐに怪しいと思ったのは永年のカンでしょうか。もちろんこれは金平糖ではなく、ミョウバンの結晶です。冷え方によってできた結晶の仕方が本物の金平糖のようです。



【万華鏡づくり】福井

土曜日に灘崎町で行う科学教室の準備に今週はかかりっきりです。万華鏡作りをするのですが、畳一畳大もあるミラー板をバチバチいう静電気におびえながら切り分けたり、紙筒を回転のこで切ったりしています。接眼部の画用紙に直径1cmの穴をあけるのにこずって、デザインカッターや円形カッター2種皮用ポンチ…など色々試してみたのですが、穴がギザギザになったり、けばだったりとうまくいきません。困って石浦先生お尋ねしたら「ボール盤を使って木工ドリルの刃でやればいい」とのこと。無茶苦茶になるような気がしたのですが、半信半疑でやってみると簡単にきれいな穴があきました。驚きました。



【静電気2種】福井

1つは以前にも紹介したことのあるフランクリンモーター。静電気の働きによりアルミの薄片をつけたコマのような回転子が勢いよく回る。そちらに目がいきやすいが、じつはウールの布を使った起電機が秀逸で、これが発生する強い静電気がミソ。



2つ目は昔よく遊んだビニール風船を使った実験。チューブに入ったビニール風船（入れ歯の固定剤と同じ成分らしい）を膨らませ、毛糸の帽子で起電した塩ビのパイプを近づけると、風船は静電気の働きで塩ビパイプにくっこうとする。うまく離したり近づけたりすると風船が空中で止まる…ハズ。米村傳次郎さんのようにはなかなかいかないなあ。

【最新のプラモデル事情】倉橋

最近のプラモデルは実に作りがいい。バリ（プラスチックを成型する時にできるはみだした部分）なんてないし、接着剤を使わずに組み立てられるそうだし、継ぎ目は見えないし、色は最初から美しくついている。右写真のようなロボットもほとんどの関節がボールジョイントになっているので好きなポーズが自由自在にできる。中国などが安いプラモデル



を輸出する現在、日本のメーカーは技術革新で対抗している。まったくすごいことです。そして、ここにもすごい奴がいる。まだコンテストに出していないので写真や詳しい情報は載せる訳にはいかないのですが、倉橋先生が持ってきた巨大な宇宙船はSF映画を観ているようで、一同感動しました。